

ひょうご基幹道路ネットワーク 整備基本計画

参 考 資 料

<整備路線の効果>

中国横断自動車道 姫路鳥取線 (E29)

地域及び道路の課題

【課題1】脆弱な道路ネットワーク

【課題2】インフラ施設等へのアクセス

【課題3】災害時の交通機能の確保

【課題4】山陰地方と山陽地方のより一層の交流の活性化

整備効果

【整備効果1】南北ネットワークの強化

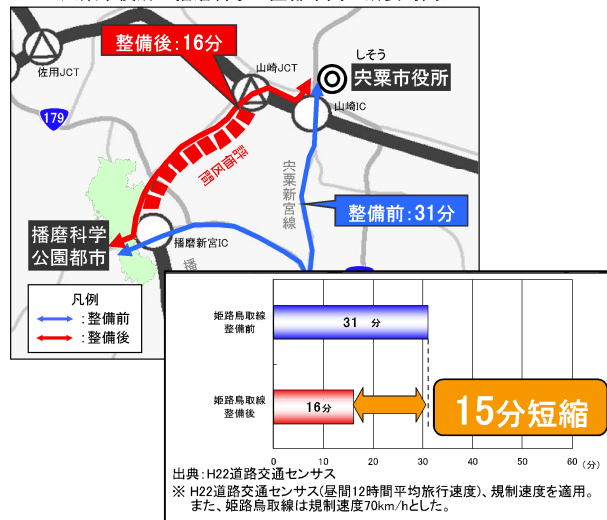
姫路鳥取線の整備前は、山陰地方（鳥取市）と山陽地方（姫路市・岡山市）の移動に2時間40分以上要している。全線開通することにより、所要時間が30分以上短縮され、山陰・山陽沿線地域の連携が強化される。



【整備効果2】インフラ施設等へのアクセスの向上

宍粟市から播磨科学公園都市への移動が15分短縮され、さらなる地域間の交流が期待される。

<宍粟市役所～播磨科学公園都市間の所要時間>



【整備効果3-1】交通事故の低減

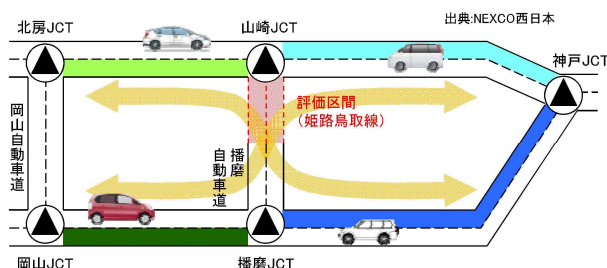
播磨自動車道の事故率は非常に低く、並行する一般道と比べ、道路交通の安全性に寄与。

【整備効果3-2】地震等災害時の交通機能確保

中国自動車道と山陽自動車道とを結ぶ「くしの歯」型道路として幹線道路の結びつきが強化される。また、防災拠点相互間の広域的連携、被災地へのアクセス強化等の効果が期待される。

【整備効果3-3】代替ルートの増加

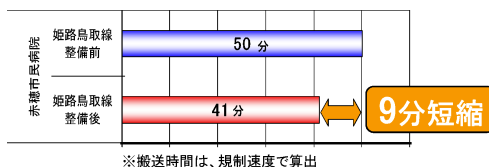
全線開通することにより、山陽自動車道と中国自動車道が接続され、代替ルートが確保される。



【整備効果3-4】救急医療活動への支援

搬送時間の短縮や第三次救急医療施設への新たなルートとして期待される。

<赤穂市民病院から姫路救命救急センターへの搬送時間>



【整備効果4-1】播磨科学公園都市における分譲面積の増加

播磨 JCT～播磨新宮 IC 開通後、大幅に産業用地の分譲面積は増加したが、全線開通によりさらなる活性化が期待される。

【整備効果4-2】山陰の観光支援と播磨地域との交流支援

鳥取自動車道の開通により観光客が増加していることから、姫路鳥取線の全線開通により、広域観光ネットワークが形成され、さらなる観光客の増加が期待される。

出典) 平成25年度 西日本高速道路株式会社 事後評価監視委員会 資料

東播磨道

地域及び道路の課題

- 【課題1】 ミッシングリンクの存在
- 【課題2】 慢性的な交通渋滞の発生やバス利便性の低下
- 【課題3】 脆弱な道路ネットワーク（救急医療活動や災害対応等への支障）
- 【課題4】 新産業団地へのアクセス道路が未整備

整備効果

【整備効果1】 地域間の時間短縮

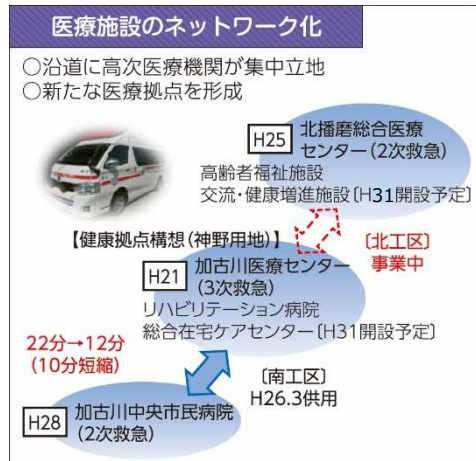
地域間の移動時間が短縮され、地域の連携や人、モノの交流が一層拡大。
東播磨地域の加古川市役所から北播磨地域の加東市役所までの所要時間が約22分短縮。
その他、小野市役所や三木市役所へも約17分短縮。



出典) 東播磨道～人が行き交い、人が交わる道づくり～（兵庫県）

【整備効果3】 医療施設へのアクセス時間短縮

三次救急医療機関へのアクセス向上とともに、周辺の二次救急医療基幹との連携強化を図る。



出典) 東播磨道～人が行き交い、人が交わる道づくり～（兵庫県）

【整備効果2】 渋滞の緩和・バスの定時性確保

南北交通を効率的に処理し、交通渋滞の緩和、交通事故の削減等を図る。最大渋滞長は、整備前に比べ大幅に短縮。

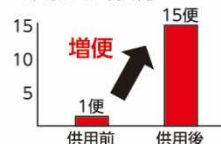


南工区の供用では、周辺道路の混雑解消により、バスの定時性が確保。

定時性確保でバス増便

- 周辺道路の混雑解消
- バスの定時性を確保でき、駅前への乗り入れ便数が増便

東加古川駅行きバス



出典) 東播磨道～人が行き交い、人が交わる道づくり～（兵庫県）

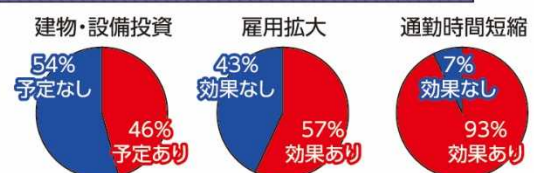
【整備効果4】 地域の活性化

東播磨道の整備を見据えて新産業団地や企業の設備投資が進められている。

新産業団地の概要

事業期間：平成28～33年度(予定)
(平成31年度一部分譲開始予定)
規模：約40ha 事業主体：県企業庁、小野市

全線開通による企業の期待



※新産業団地と隣接する小野工業団地企業アンケート(28社に聞き取り)より

出典) 東播磨道～人が行き交い、人が交わる道づくり～（兵庫県）

神戸西バイパス (E94)

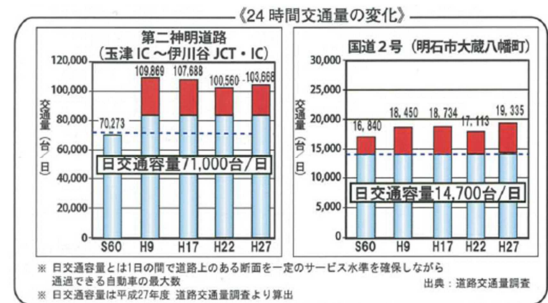
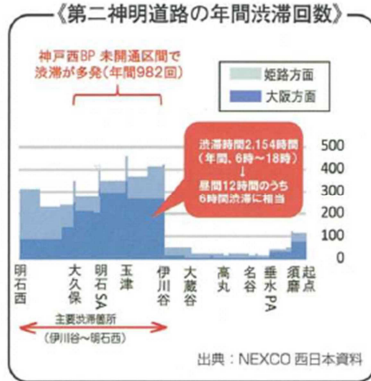
地域及び道路の課題

- 【課題1】 第二神明道路・国道2号の交通渋滞
- 【課題2】 第二神明道路で多発する交通事故
- 【課題3】 播磨から神戸-大阪までを東西につなぐ道路ネットワーク

整備効果

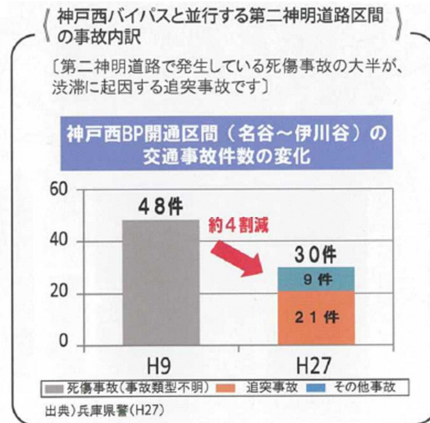
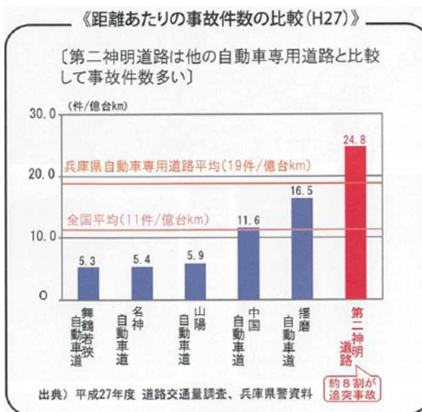
【整備効果1】 通行規制時の代替路の確保

東播磨地域～神戸市間を東西に結ぶ主要幹線道路の国道2号及び第二神明道路は交通渋滞が頻繁に発生しています。神戸西バイパス未整備区間と並行する第二神明道路は交通容量を超過した交通が発生しており、年間982回の渋滞が発生しています。引き続き未整備区間の整備を進めることで、交通混雑の緩和が期待されます。



【整備効果2】 交通事故の削減

第二神明道路は他の自動車専用道路と比較して死傷事故率が高く、交通安全の確保が課題となっています。神戸西バイパス未整備区間と並行する第二神明道路で発生している死傷事故の大半が、渋滞に起因する追突事故です。神戸西バイパスの整備により、並行する第二神明道路の交通混雑が緩和され、事故の減少が期待されます。



【整備効果3】 物流効率化による経済の活性化



兵庫県内の人口及び事業所の約半数が阪神・播磨地域に集中している。神戸西バイパスの整備により阪神地域と播磨地域間の物流ネットワークが拡充されることで、定時制・速達性が向上し、物流の効率化に寄与することが期待されます。

出典) 神戸西バイパス パンフレット (国土交通省・西日本高速道路株式会社)

北近畿豊岡自動車道 (E72)

地域及び道路の課題

- 【課題1】 ミッシングリンクの存在
- 【課題2】 物流における輸送時間
- 【課題3】 観光地への低いアクセス性

- 【課題4】 災害時の市街地孤立化
- 【課題5】 脆弱な道路ネットワーク

整備効果

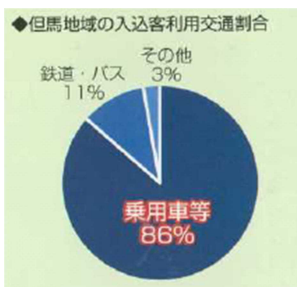
【整備効果1】 所要時間の短縮

城崎温泉から大阪市役所までのまでの所要時間は段階的に短縮され、豊岡道路まで開通した場合、約50分短縮されます。



【整備効果3】 観光の活性化

但馬地域への入込客の8割以上が乗用車等であることから、北近畿豊岡自動車道の完成により、観光産業の活性化が期待されます。



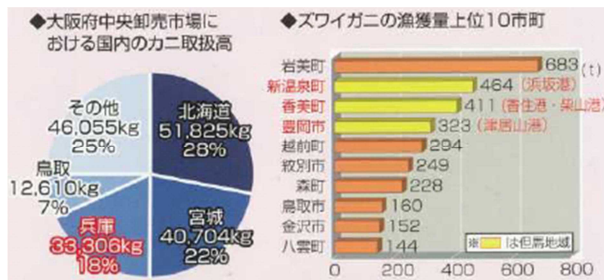
【整備効果5】 冬季の通行の確保

但馬地域は東北や北陸などと並ぶ豪雪地帯です。このため、大雪による道路の通行止めや渋滞が発生し、日常生活に影響がでることがあります。北近畿豊岡自動車道が冬季における但馬地域の日常生活を支えます。



【整備効果2】 物流の迅速化

漁獲高全国シェア上位を占めるズワイガニなど、但馬地域を代表する生鮮食品の京阪神への輸送時間が短縮され、鮮度保持・品質向上が期待できます。



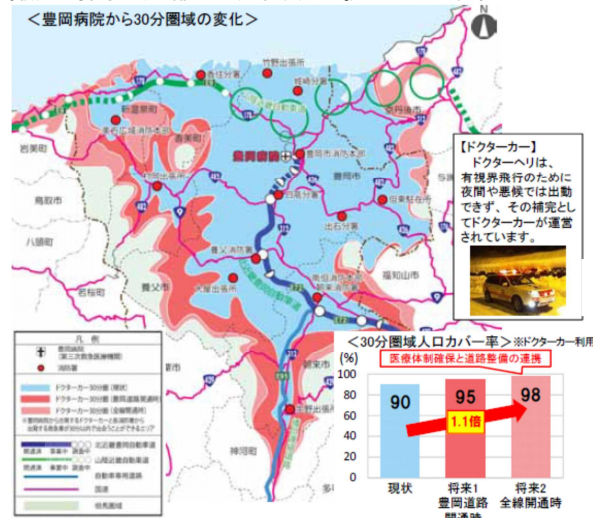
【整備効果4】 災害時の代替路の確保

平成16年の台風23号では、土砂崩れや路面冠水等が発生し、通行止め等の通行規制が行われました。北近畿豊岡自動車道の完成により、災害時の代替路として機能し、地域間の移動や災害支援をサポートします。



【整備効果6】 搬送時間の短縮

第3次医療機関である公立豊岡病院までの救急搬送時間が短縮30分圏域が拡大します。



出典) 北近畿自動車道パンフレット(国土交通省)等より

山陰近畿自動車道 (E9)

地域及び道路の課題

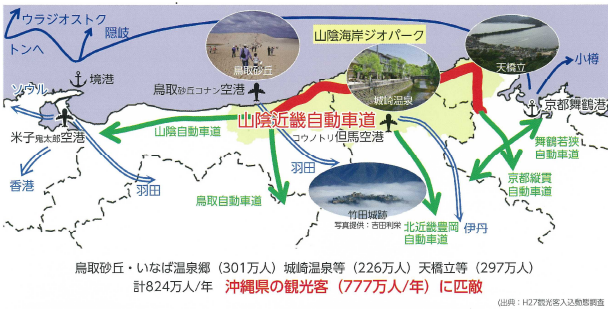
- 【課題1】 観光地への低いアクセス性
- 【課題2】 ミッシングリンクの存在

- 【課題3】 救急医療施設への低いアクセス性
- 【課題4】 脆弱な道路ネットワーク

整備効果

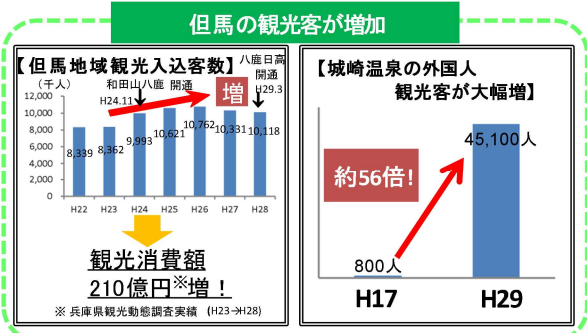
【整備効果1】 観光地へのアクセス性

山陰海岸ジオパークに沿線のほぼ全域が含まれるこの地域には、年間824万人の観光客が訪れ、山陰近畿自動車道の整備により、さらなるポテンシャル向上が期待されます。



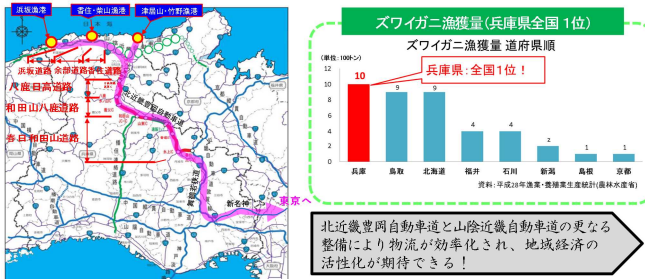
【整備効果2-1】 観光客の増加

北近畿豊岡自動車道と一体となって、さらなる観光客の増加が期待されます。



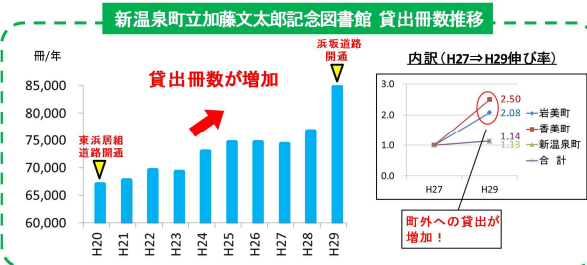
【整備効果2-2】 物流の効率性向上

漁獲量1位のズワイガニの大消費地の東京でのシェアが拡大しています。



【整備効果2-3】 地域間交流の拡大

兵庫県新温泉町、香美町、鳥取県岩美町の3町で図書館の相互利用協定を締結。町民が借りられる蔵書数は、新温泉町で約2倍、香美町及び岩美町で約4倍と大幅増加しています。



【整備効果3】 救急搬送時間の大幅短縮

山陰近畿自動車道の開通により、新温泉町から豊岡病院までのアクセスが75分から30分となり、45分も短縮されるなど、地域住民の生命を守る「命の道」としての役割が期待されています。



【整備効果4】 災害時代替道路の確保

南海トラフ巨大地震の発生時は、日本海側の高速道路による物資等の輸送が不可欠になります。そのため、日本海側の高速道路のミッシングリンクを解消し、大規模災害時のリダンダンシーを確保する山陰近畿自動車道の早期整備が必要です。



名神湾岸連絡線

地域及び道路の課題

- 【課題1】 阪神高速3号神戸線の慢性的な渋滞
- 【課題2】 津波による浸水被害で輸送路が分断
- 【課題3】 阪神高速3号神戸線と国道43号の沿道環境の改善
- 【課題4】 生活道路の交通安全確保
- 【課題5】 物流の効率化・地域間連携の強化

整備効果

【整備効果1】 空港間の移動時間の短縮と定時性の確保

大阪市中心部を經由せず、名神湾岸連絡線を通ることにより、関西国際空港と大阪国際空港の所要時間を8～12分短縮することができます。



【整備効果3】 災害時等に強い道路ネットワークの確保

大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで、渋滞や事故等が起こった場合に、別の経路を選択することができます。津波が来ても浸水しない道路がつながることにより、より速やかな災害時の緊急輸送が可能となります。



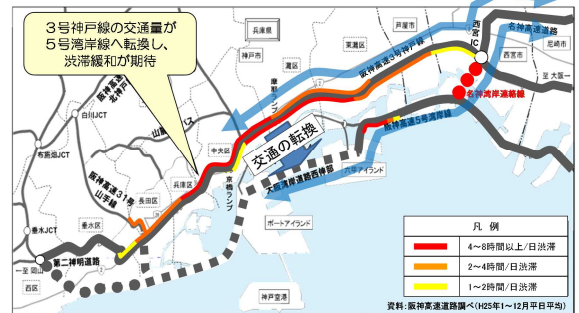
【整備効果5】 交通安全の確保

大型車が一般道路を經由せずに通行できるため、生活道路の交通負荷が軽減し、交通事故に対する安全性の向上が期待できます。



【整備効果2】 渋滞の緩和・物流の活性化

名神高速道路から阪神高速3号神戸線へ向かう交通が、湾岸線へ分散することにより、阪神高速神戸線の渋滞が緩和し、走行速度、定時性が向上します。大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」と名神高速道路とが直結し、物流ネットワークが強化されます。



【整備効果4】 沿道環境の改善

大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで、名神高速道路から阪神高速神戸線への交通が、湾岸線に転換することにより、国道43号、阪神高速神戸線の沿道環境が改善します。



出典) 名神湾岸連絡線 計画段階評価資料 (国土交通省) 名神湾岸連絡線 パンフレット (兵庫県)

大阪湾岸道路西伸部

地域及び道路の課題

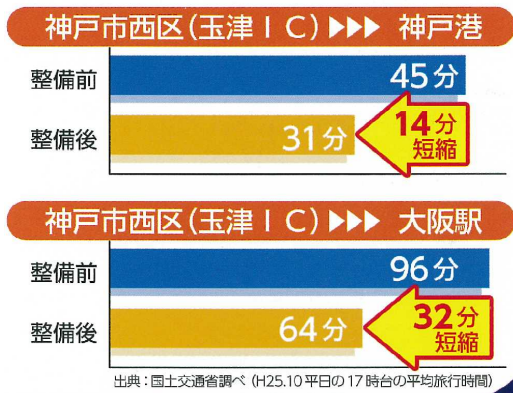
- 【課題1】 渋滞損失時間の増大
- 【課題2】 事故多発区間の発生

- 【課題3】 沿道環境の悪化
- 【課題4】 ポートアイランドや六甲アイランドへの低いアクセス性

整備効果

【整備効果1】 移動時間の短縮

阪神高速3号神戸線の渋滞損失額は全国ワースト1位（2017年3月現在）。西伸部の整備により、国際コンテナ戦略港湾・阪神港や関西国際空港などの物流拠点への移動時間が短縮され、物流効率化が図られます。



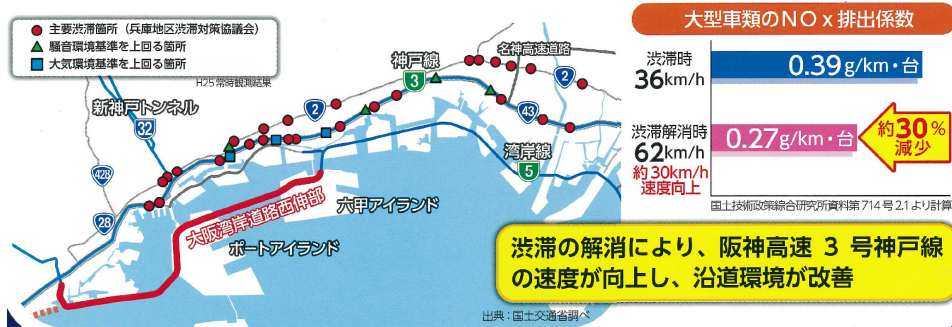
【整備効果2】 代替路の確保

阪神高速3号神戸線の魚崎ランプ以西には事故多発区間が点在し、その事故件数の50%以上で車線規制が発生。その車線規制により一般道へ交通が集中しています。西伸部の整備により代替路の確保が可能となり、交通の集中が緩和されます。



【整備効果3-1】 大型車類のNox排出係数の減少

主要渋滞箇所が広範囲に存在し、騒音・大気環境基準超過箇所が多数存在。西伸部の整備により、交通が分散され、沿道環境が改善されます。



【整備効果3-2】 企業進出の増加

神戸医療産業都市は国家戦略特区に指定され、進出企業数は年々増加。西伸部の整備により、企業のアクセス性が向上し、最先端の医療拠点への更なる企業進出等が進み、地域経済が活性化されます。



播磨臨海地域道路

地域及び道路の課題

- 【課題1】 国道2号バイパスの交通容量不足
- 【課題2】 播磨臨海地域の慢性的な交通渋滞
- 【課題3】 多発する交通事故

国道2号BPの交通容量は約5万台/日の不足！
交通量は一般道路で全国第8位！（加古川BP）



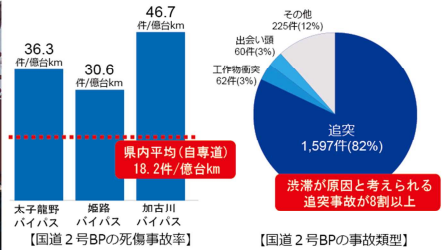
国道2号バイパス（姫路東カーブ付近）

県内の渋滞差地点（70箇所）の
うち約半数（36箇所）が播磨臨海地域に集中



国道2号バイパスへのアクセス道路(中地カーブ付近)

国道2号バイパスの死傷事故率は、
県内平均（自動車専用道路）の約2倍以上



整備効果

【整備効果1】 観光周遊の促進

県内観光地「神戸」「姫路」「城崎」をつなぐ『ひょうごゴールデンルート』の形成により、世界文化遺産「国宝 姫路城」をはじめとした観光・交流の促進が期待されます。



姫路城（姫路市）

【整備効果2】 神戸港へのアクセス強化

自動車専用道路のラダー（格子状）ネットワーク形成により、播磨臨海地域から神戸港へのアクセスが最大30分短縮し、速達性・定時性が強化されます。（現況、最大2時間）



メリケンパーク（神戸市）

【整備効果3】 民間投資拡大による雇用創出

道路整備により神戸港へのアクセス性向上により、播磨臨海地域の低未利用地（約400ha）への新規企業立地や設備投資拡大が促進されることで、新たな雇用の創出や産業の活性化等が期待できます。

低未利用地(約400ha)の有効活用
(新規立地、設備投資拡大)を促進

新たな雇用の創出: **12,000人以上!**

(播磨地域 約30人/ha)

製造品出荷額: **6,000億円以上!**

(播磨地域 約16億円/ha)

※平成28年経済センサス(総務省)「用地・用水編」より試算



出典) 播磨臨海地域道路 パンフレット (兵庫県)

東播丹波連絡道路

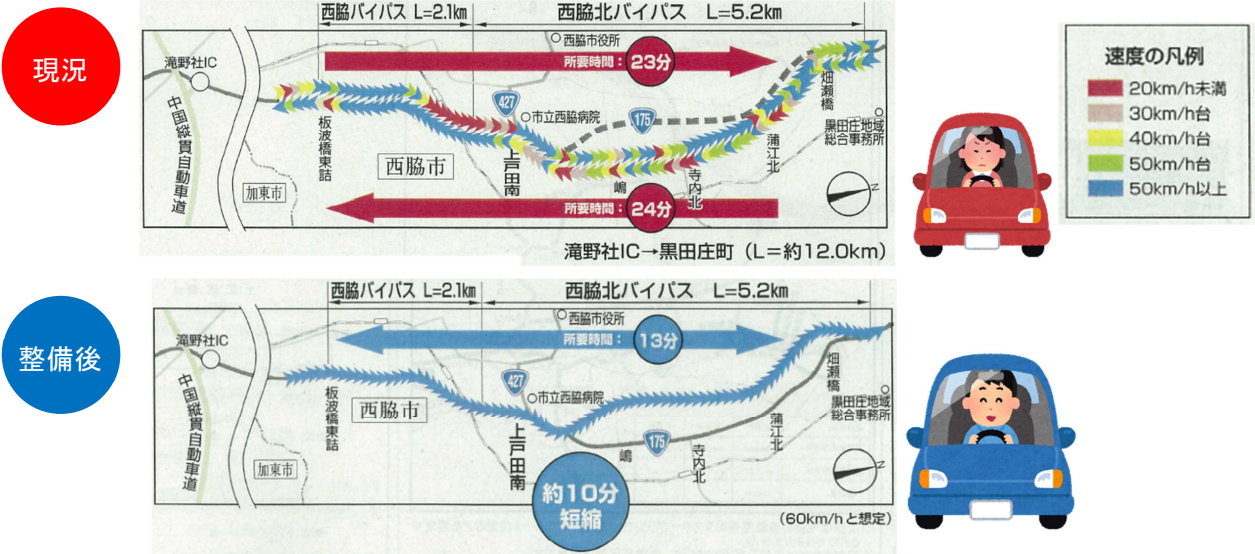
地域及び道路の課題

- 【課題1】 脆弱な道路ネットワーク（救急・災害対応等）
- 【課題2】 地場産業関連施設への低いアクセス性
- 【課題3】 道路構造に起因する慢性的な交通渋滞の発生

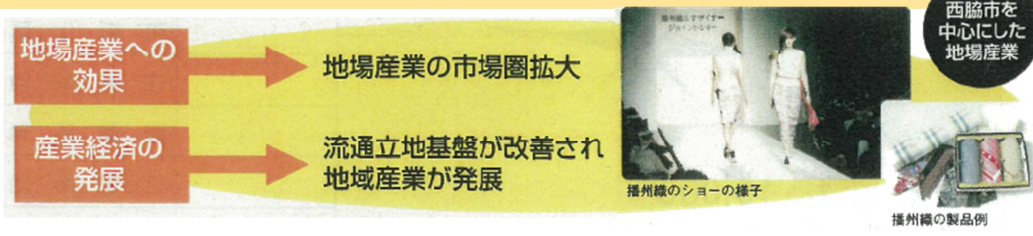
整備効果

【整備効果1】 所要時間の短縮 国道175号

走行速度の向上によって、所要時間が短縮され、救急・災害対応力の向上につながります。

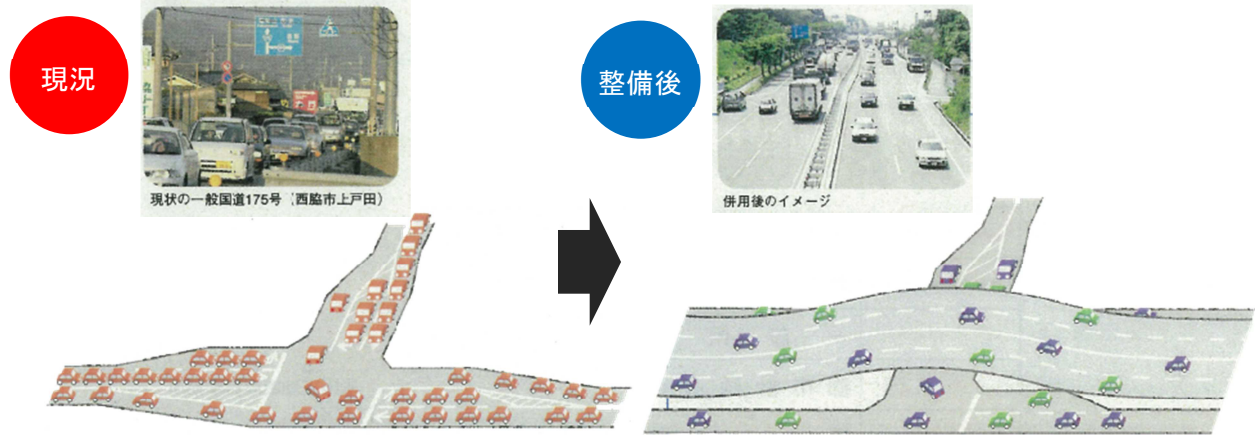


【整備効果2】 地場産業への効果



【整備効果3】 交通混雑の改善

国道の高架化により、交差点での直進並びに右左折の流れが円滑化し、混雑が緩和されます。



整備効果出典 西脇バイパス・西脇北バイパスパンフレット（兵庫国道事務所）